

アルカスクラブ会員優待企画

アルカスクラブ会員のお申し込みは随時受付中！詳しくはアルカスSASEBOまで!!



アルカスSASEBO
文化茶話

室内オーケストラの愉しみ ～ヴァイオリンとチェンバロの優雅な調べ～

2019年3月24日に開催するアルカスSASEBOオリジナル室内オーケストラ「チェンバー・ソロイスト・佐世保」。3回目の公演に先がけ、音楽監督 豊嶋泰嗣さん（ヴァイオリン）と旗揚げからのメンバーである中野振一郎さん（チェンバロ）をお招きし、演奏を交えながら対談していただきます！

桐朋学園大学同期で、同年、同月生まれのおふたりのこと、貴婦人のサロンやバロック時代の宮廷と作曲家の話。そしてもちろんチェンバー・ソロイスト・佐世保（室内オーケストラ）の魅力についてのお話と演奏は必聴です！

＜予定曲目＞

ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタ
第6番 ト長調 BWV1019より（バッハ）

ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ
二長調 Op.5-8より（レクレール）

鳥たちのさえずり（ラモー）ほか

※使用チェンバロ：ローランド 電子チェンバロ C-30

＜出演＞



豊嶋 泰嗣（ヴァイオリン）

桐朋学園女子高等学校、桐朋学園で江藤俊哉、アンジェラの両氏に師事。桐朋学園在学中よりヴァイオリン、ヴィオラ奏者としてソリスト、室内楽、コンサートマスターとしての演奏活動を始め。1986年、大学卒業と同時に弱冠22歳で新日本フィルのコンサートマスターに就任し楽壇デビュー。その後もサイトウ・キネン・オーケストラ・ジャパン・ヴィルトゥオーゾ・オーケストラ等でコンサートマスターを務め、指揮者、オーケストラからの信頼も厚い。

91年村松賞、第1回出光音楽賞、92年芸術選奨文部大臣新人賞受賞。京都市立芸術大学准教授、桐朋学園大学および大学院講師。1719年製 アントニオ・ストラディバリウスを使用。



中野 振一郎（チェンバロ）

京都出身。桐朋学園卒。ヴェルサイユ古楽、バークレー古楽、ライブツィビ・パッサなどの国際音楽祭より招かれている。とりわけ「ヴェルサイユ古楽フェスティバル」（1991年）では、ギルバートやアスベレンら欧米の名手と肩を並べ「世界の9人のチェンバリスト」のひとりに選ばれた。毎年、アジア最大級の音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ」でも個性的なプログラムで好評を博している。近年は、得意のレクチャー・コンサートにも力を入れている。

2019年2月9日(土) 開場13:30／開演14:00(15:30終演予定)
アルカスSASEBO イベントホール

アルカスクラブ・一般プレイガイド
同時発売 **11月10日(土)**

【全席自由】ゴールド・オレンジ会員／無料 ホワイト会員／500円 一般／1,200円 学生／500円 協力：(株)ローランド

【前売券取扱】アルカスSASEBO、チケットぴあ(Pコード 126-184)、ローソンチケット(Lコード 82647)、イープラス(<http://eplus.jp>)



1人の作曲家を年間を通じて取り上げ、手がけた魅力的な作品をアルカスSASEBOが主催するさまざまな公演で演奏する企画「Mプロジェクト」。2018年度は没後100年の記念イヤーとなるフランスを代表する作曲家「ドビュッシー」を取り上げます。さらに、日仏交流160周年にあたることから「フランス」にもテーマを広げてお届けします。

アルカスSASEBOオリジナル室内オーケストラ チェンバー・ソロイスト・佐世保

今回はMプロジェクトであるドビュッシーのソリストとして、長崎県出身、小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトに参加し、現在はオーストラリアを拠点に、世界各国で活躍中のソリスト朝永侑子が登場します。佐世保でしか聴く事の出来ないオリジナル公演にご期待ください！

＜出演＞
豊嶋泰嗣（音楽監督・ヴァイオリン）、朝永侑子（ハーブ／ソリスト） ほか
＜予定曲目＞
チェンバロ協奏曲 ト長調（ベンダ）
ハーブと弦楽合奏のための＜神聖な舞曲と世俗的な舞曲＞（ドビュッシー） ほか

2019年3月24日(日) 開演 14:00

■中ホール
【全席指定】一般／6,000円 学生／3,000円

アルカスクラブ先行発売 12月8日(土)
一般プレイガイド発売 12月22日(土)

■主催・お問い合わせ／アルカスSASEBO（第2・4水曜日 休館）TEL0956-42-1111 <http://www.arkas.or.jp> アルカスSASEBO 検索

私達は、アルカスSASEBOの文化事業への協賛を通して地域文化の振興を支援するオフィシャルパートナーです。

Japanet

佐世保の皆様！

チェンバロの中野振一郎です。

早いもので「チェンバー・ソロイスト・佐世保」が産声をあげてから、そろそろ3年目に突入しようとしています。まだまだ若い楽団ですが……

名監督・豊嶋泰嗣さんのリーダーシップのもと、「澁刺と」「自由に」「あざやかに」「新鮮に」、そこから団固有の「美しい音色と良い音楽」を「探求」し、熱く「再現」、このアンサンブルは着実に進化し続けております。

もちろん「アルカス SASEBO」という、まるで名器のような最高の劇場で弾けるからこそ、のびのびと進化してゆけるのだと確信しております。

そして何より、佐世保の教養豊かなお客様たちに大感謝です。毎回あたたかく盛り上げながら素敵な環境を創造してくださる。本当に有り難うございます。

「チェンバー・ソロイスト・佐世保」は、今、日本で一番、元気で、贅沢なアンサンブルだと云えるでしょう。

さて今回は豊嶋さんとお話をまじえながら、ヴァイオリンとチェンバロのデュオ(二重奏)をお届けいたします。デュオはまさにアンサンブルの原点。この文化茶話が3月のコンサートへの良き「いざない」となれば幸いです。

豊嶋さんと云えば、皆様も良くご存知の世界的なヴァイオリンの名手ですね。嬉しいことに私は、彼と桐朋の同期。全く同年同月の生まれ！(肉体的成長の度合に多少の違いはありますが…)。ですので、幼馴染みで、いかにも昔から仲良く一緒に活動してきたかのように思われがちですが、意外と音楽でのお付き合いは浅い(笑)。

我々が一緒に音楽を演じるようになったのは、ちょうど楽壇生活30年を迎えた2016年。

なぜか自然に導かれるように？「一緒にやろう！」と、お互い意気投合したのです。

もう二人とも50を派手目にまわった立派なおっさんになってからのことでした。

そんな御縁で、その後は、しばしば彼に引っ張られっぱなしの楽壇生活！

お蔭様にて長崎・佐世保にお邪魔できるようになったのです。豊嶋さんに感謝ですね。

今回はそんな我々の出発地点である「デュオ」。曲目はバロック音楽。18世紀の宮廷やサロンで鳴り響いた、貴婦人や王様のための「極上の音楽」です。

皆様も当日は貴族です。

優雅な宮廷音楽と、おっさん二人の対談をジックリお楽しみください。

それではステージにて。

中野振一郎